

公開実用 昭和 59— 24704

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭59—24704

51 Int. Cl.³
A 41 B 13 02
G 01 N 25 56

識別記号 庁内整理番号
7149—3B
7159—2G

43 公開 昭和59年(1984) 2 月16日

審査請求 未請求

(全 頁)

54 使い捨ておむつ用バックシート

⑯ 考 案 者 伊藤道康

桑名市星川68

21 実 願 昭57—118289

⑰ 考 案 者 石井利幸

22 出 願 昭57(1982) 8 月 5 日

知多市南柏谷字東坂36

⑱ 考 案 者 伊藤恵子

⑰ 出 願 人 三井東圧化学株式会社

名古屋市南区滝春町 5

東京都千代田区霞が関 3 丁目 2

⑲ 考 案 者 竹藤安男

番 5 号

名古屋市南区霞町 5

明 細 書

1. 考案の名称

使い捨ておむつ用バックシート

2. 実用新案登録請求の範囲

1. 水及び／又は尿により変色、発色あるいは消色する部分と水及び尿で変化しない着色した部分からなる模様が少なくとも1箇所設けられている使い捨ておむつ用バックシート。

3. 考案の詳細な説明

本考案は使い捨ておむつ用バックシートに関するものである。^{詳しくは}更に使い捨ておむつに使用した場合に尿をしたことを検知する機能を有する模様が設けられてある使い捨ておむつ用バックシートに関するものである。

近年、使い捨ておむつはその簡便さから使用量が増している。また、使い捨ておむつに用いる材料も格段に改良され、吸水性に優れたものや、すぐに尿が吸収され膚が常にさつぱりとしていられるような使い捨ておむつが主流を占めるに至っている。そのため、赤坊は尿をしても常に膚がさつ



ばりとしているので、泣いて知らせることもなくなり、おむつの取換え時を失する事態が生じている。外側から尿をしたことを検知できれば好都合であり、そのための工夫も種々為されている。その工夫としては、水あるいは尿で呈色するもの、pH 指示薬を用いたもの、水性染料が水で溶けることを利用したもの等が知られている。しかしながらこれらの工夫は尿をしたことを検知することを主目的にしているため、使い捨ておむつの外観は半透明のバックシートそのものであり、美的感覚に欠けるものである。

本考案者らはかかる現状から、外観が改善されかつ尿をしたことも検知できる使い捨ておむつにつき検討し、使い捨ておむつのバックシートを改良すれば良い事に気が付き、本考案を完成するに至った。

即ち、本考案に従つて、水及び／又は尿により変色、発色あるいは消色する部分と、水及び尿で変化しない着色した部分からなる模様が少なくとも 1 箇所設けられている使い捨ておむつ用バック



3

シートが提供される。

以下図面により本考案を説明する。

第1図及び第2図は本考案の使い捨ておむつ用バックシートの模様部分を模式的に示す断面図である。

第1図は水及び／又は尿で変色、発色あるいは消色する部分1（以下呈色部と表わす）と水及び尿で変化しない着色した部分2（以下着色部と表わす）が両方とも透明又は半透明のプラスチックシート3の片面に設けられたものを示し、第2図は呈色部1と着色部2がプラスチックシート3のそれぞれの面に設けられたものを示す。呈色部2は全てプラスチックシート3の片面に設けられている必要があるが、着色部は必ずしもプラスチックシート3の片面にある必要はなく、プラスチックシート3の中にも含まれていても両面にあつてもよい。

また模様としては例えば星型の輪郭部を着色部2にしておき、その内部に呈色部1を設けたり（第2図）、あるいはかたつむりの殻の部分に呈色部



4

1 と着色部 2 をぬりわけておく（第 3 図）等種々のものがあり、呈色部 1 と着色部 2 を種々に組合せて花、動物あるいは童話に関係した図柄にすることができる。

このように呈色部 1 と着色部 2 を有する模様がついた使い捨ておむつ用バックシートを用いることにより、使い捨ておむつの外観が改善される。外観がカラフルで親しめる模様があることから、使い捨ておむつのみでも人に不快感を与えない利点もある。

更に、尿により呈色するので、尿をしたことがすぐに検知でき良好である。

また、従来の尿による呈色だけを利用していたのでは着色に制限があつたが、膚に触れて害のないものであれば何でも着色部に利用できるので、模様は非常にカラフルにできる。

尿による呈色部には従来公知のものは何でも利用できるが、湿潤により光散乱機能が低化することにより発色する方法を用いると種々の色を用いることができるので好ましい。





5

本考案の使い捨ておむつ用バックシートに用いるプラスチックシートはポリエチレン、ポリプロピレン、ポリ塩化ビニル、ポリエステル、ナイロン等種々のプラスチックのフィルムが利用できる。

本考案の使い捨ておむつ用バックシートは呈色部が尿吸収部材側にくるようにして用いる。また模様部分を適当な液体吸収部材の上にはりつけることにより、湿潤状態検知物をも製造できる。

模様は~~一部~~^一部に設けられるのではなく、使い捨ておむつ用バックシートの~~全~~^金面に設けられていてもよい。



4. 図面の簡単な説明

第1図及び第2図は模様部分の断面図、第3図及び第4図は模様の例である。

1 : 呈色部、 2 : 着色部

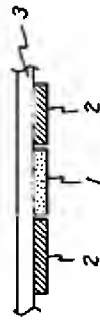
3 : プラスチックシート

実用新案登録出願人

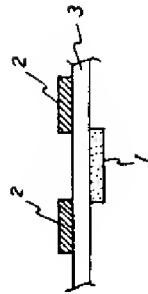
三井東圧化学株式会社

図 面

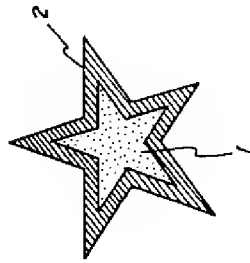
第 1 図



第 2 図



第 3 図



第 4 図

